

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	五十嵐 靖博	所属	山野美容芸術短期大学
研究会等名称	批判心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員           36名 (うち認定心理士       3名) 非会員        4名 (うち認定心理士       0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>下記のふたつのシンポジウムを開催した。 ①日本心理学会第 79 回大会におけるシンポジウム「日本における批判心理学の可能性：理論心理学, LGBT 心理学, エスニックマイノリティの心理学, 平和心理学の立場から」 会場：名古屋国際会議場 日時：9 月 22 日 話題提供 1：五十嵐 靖博 (山野美容芸術短期大学) 話題提供 2：柘植 道子 (一橋大学) 話題提供 3：Tin Tin Htun (Temple University, Japan Campus) 話題提供 4：いとう たけひこ (和光大学) 指定討論：尾見 康博 (山梨大学) 司会：いとう たけひこ・五十嵐 靖博 実施内容と成果： 第二次大戦後の心理学の歩みの中で、1990 年代以降に欧米だけでなくラテンアメリカやアフリカ、アジアの研究者が集い批判心理学者が国際的に連携するようになったことは特記すべき歴史的発展と考えられる。この現代批判心理学運動は女性の立場からの心理学やポスト実証主義的心理学、ドイツ批判心理学、反人種差別の心理学、解放の心理学など 1970 年代以降に各国の固有の文脈において主流心理学が抱える問題を解決して新たな心理学を構築しようと努めてきた様々な「非主流心理学」が連携してネットワークを築いた結果、成立したものである。本シンポジウムでは日本で理論心理学や LGBT 心理学、エスニックマイノリティの心理学、平和心理学に取り組む研究者がそれぞれのアプローチの意義を論じ、心理学に、より広く社会と一般の多くの人々に何をもたらし得るかを検討した。日本において批判心理学が果たし得る役割と可能性について多くの知見を得た。</p> <p>②シンポジウム 心理学と対テロ戦争と「国家安全保障の尋問」 日時：3 月 5 日 (土) 会場：和光大学 A 棟 4 階, 第 2 会議室 話題提供：五十嵐 靖博 (山野美容芸術短期大学) 「理論心理学・批判心理学からみた『国家安全保障の尋問』」</p>		

指定討論：いとう たけひこ（和光大学） 「平和心理学の立場からみた APA 拷問問題」

共催：心理科学研究会 平和心理学部会，平和のための心理学者懇談会

実施内容と成果：

9.11 後に対テロ戦争においてテロ情報を得るために「強化尋問技法」を用いて行われた過酷な尋問は「心理学的拷問」と呼ばれ，APA の倫理政策や心理学の倫理をめぐって多くの論議を呼んできた。本シンポジウムでは理論心理学や心理学史研究の立場から同時多発テロの後の 10 数年間を振り返り，軍事・情報セクターと心理学の関係を考察した。平和心理学の立場からの指定討論を踏まえ，現行の心理学が抱える問題を解決し幸福や福祉に積極的に寄与する心理学を目指す批判心理学が，戦争と心理学の倫理に係る問題にどう取り組むべきかを討議した。心理学と学問外的諸要因の関係について，理解を深めることができた。

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2015年 9 月 22日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	916006	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	876479	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	914611	
4	柘植 道子	一橋大学障害学生支援室		
5	Tin Tin Htun	Temple University, Japan Campus		
6	尾見 康博	山梨大学教育学研究科		
7	その他, 30余名の参加者			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2016年 3 月 5 日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	916006	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	876479	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	914611	
4	その他, 5名の参加者			
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

年 月 日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 批判心理学研究会

研究会番号 研 15013

助成金額 ¥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2015年9月17日	印刷費 (シンポジウム資料制作印刷用トナー代)	¥9,760 ✓
2015年9月22日	講師謝礼 (1名)	¥12,000 ✓
2015年10月27日	印刷費 (シンポジウム資料制作印刷用トナー代)	¥19,520 ✓
支出合計		¥41,280 ✓